



にほんどうめいきりすときょうだんせんきょう しゅうねんきねんせんげん
日本同盟基督教団宣教130周年記念宣言

《はじめに》

わたし にほんどうめいきりすときょうだん つら きょうかい きょうしよく しんといちどう せんきょう しゅうねん むか
私たちが日本同盟基督教団に連なる教会、教職、信徒一同は、宣教130周年を迎える
きょうこのとき ちち こ せいれい かみ さんび しゅ さいりん かみ くに かんせい ま のぞ あら
今日この時、父・子・聖霊なる神を賛美し、主イエスの再臨と神の国の完成を待ち望み、新
たな献身の思いをもってここに宣言します。

《私たちのこれまで》

わたし
わたし にほんどうめいきりすときょうだん あゆ ねん がつ にち ほくべい
私たちが日本同盟基督教団の歩みは、1891年11月22日、北米スカンヂナビアン・アライ
アンス・ミッションから遣わされた15名の宣教師たちの横浜上陸に始まります。私たち
ふくいん たく せんきょう しめい め め こた こころざし じょうねつ あた ひと こころ と
に福音を託し、宣教の使命に召し、その召しに心える志と情熱を与え、一つの心で取
り組むようにしてくださった主に感謝します。

わたし か こ せんそうきょうりよく ぐうぞうれいはい つみ く あらた よ お
私たちは「過去の戦争協力と偶像礼拝の罪を悔い改め、世の終わりまでキリストへの
しんごう けんじ もの かみ みまえ みずか ざいせき く あらた
信仰を堅持する」¹ 者として、神の御前に自らの罪責を悔い改めます。

わたし きょうだんそんりつ もくてき せいしよしんごう せんきょうきょうりよく ごうぎせい いっち
私たちは教団存立の目的を「『聖書信仰、宣教協力、合議制』における一致のもと、
せいれい ちから せんきょうめいれい こた かみ えいごう あらわ
聖霊の力によりキリストの宣教命令に心えて、神の栄光を現すことにある」と言い表し、
ぎせい お せつきよくてき かいたくでんどう けんじつ きょうかいけいせい こくないせんきょう にほん
「犠牲を惜みず、積極的な開拓伝道と堅実な教会形成による国内宣教および『日本と
アジヤと世界』を視野に入れた国外宣教を推進して、地の果てまで福音を宣べ伝える」²
わざにはげ つづ きょう いた
わざにはげつづき、今日に至っています。

いま せんきょう しめい は そっちよく みと しゅ
今なお宣教の使命を果たしきれていないことを率直に認め、それにもかかわらず主が
わたし もち すく おお み むす かんしや
私たちを用いて救いのわざをなし、多くの実を結ばせてくださったことを感謝します。

《私たちのいま》

かみ あい つく ひぞうせかい つみ ひさん なか きず
神が愛をもって造られたこの被造世界は、罪と悲惨の中であってうめき、傷ついています。
かみ そうぞう にんげん つみ かみ となりびと あい せかい ただ
神のかたちに創造された人間は、罪ゆえに神のかたちをそこない、隣人を愛し、世界を正
しく治めることができなくなりました。こうして、世界のあちらこちらに隔ての壁がそびえ
立ち、断絶が広がり、あらゆる領域で対立、分断、格差があらわになっています。

ねん がつ にち お ひがしにほんだいしんさい ご かくち さいがい じだい たい わたし
2011年3月11日に起こった東日本大震災とその後の各地の災害は、この時代に対する私
たちのせんきょう ほうし かた み なお すかい ねん ねん
たちの宣教と奉仕のあり方を見つめ直す機会となりました。2019年から2020年にかけて
てんのうだいが くに しゅ こくはく しんごう と きかい
の天皇代替わりは、この国でイエス・キリストのみを主と告白する信仰が問われる機会とな
りました。そして今、新型コロナウイルス感染症³の世界的蔓延の渦中であって、私
みずか い かた きょうかい かた と きょうかい かいかく うなが
たちは自らの生き方、教会のあり方を問われ、教会の改革へと促されています。

げんじつ なか わたし せかい あい しゅ み しゅ まなざ うなが
この現実のただ中で、私たちはこの世界を愛される主を見つめ、主の眼差しに促されて
この世界を見つめます。羊飼いのいない羊のように弱り果てている羊たちの声に耳を澄ま
し、迷い出た羊を捜し出してくださる主の御声に耳を澄まします。

1 日本同盟基督教団教憲前文

2 同上

3 COVID-19

わたし
《 私たちのこれから》

せんきょう しゅうねん わか きょう わたし おう したが
宣教130周年を迎えた今日、私たちはまことの王なるイエス・キリストに従い、この
かたいがい けつ ひざ かがめず、この方のみを主と告白し、礼拝します。

わたし
私たちは、「立ちなさい。さあ、ここから行くのです」⁴ との主の呼びかけに応え、「聖霊
があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます」⁵ との約束の成就である聖霊
におだされ、主イエス・キリストの十字架と復活を宣べ伝えます。

わたし ひとり おお ひと みちび さまざま しゅだん ちち きかい
私たちは、一人でも多くの人をキリストに導くために、様々な手段を用い、あらゆる機会
を捉え、教職、信徒が一つとなって福音宣教に励みます。

わたし じゅうらい こくないせんきょう こくがいせんきょう わく こ 民族 げんご せだい しょくぎょう
私たちは、従来の「国内宣教・国外宣教」の枠を越えて、民族、言語、世代、職業、
しゃかいのあらゆる領域の人々を悔い改めへと促し、キリストのもとに立ち返るよう招きま
す。

わたし せだい いのちを あい そんざい たつと わかもの こ とも
私たちは、あらゆる世代のいのちを愛し、その存在を尊び、若者や子どもたちと共に
せいちょう 成長します。

わたし せいかつ とお ふくいん ことば あい かみ くに かちかん あらわ
私たちは、生活を通して福音をあかしし、言葉と愛のわざによって神の国の価値観を現
し、地域の人の隣人となって仕えます。

わたし ぼうりよく よくあつ ち せいぎ へいわ う た
私たちは、暴力と抑圧にさいなまれている地に正義と平和が打ち立てられるようにとり
なし祈ります。

わたし せかい よ かんりしゃ せきん じかく しゅ ゆだ せかい
私たちは、この世界の良き管理者としての責任を自覚し、主から委ねられたこの世界を
ただ おさ となりびと とも い ころざ
正しく治めて、隣人と共に生きることを志します。

わたし かみ しゅくふく せかい め かみ せかい みくに たみ
私たちは、神の祝福をこの世界にもたらすために召された神の子ども、御国の民として、
キリストのからだなる教会を建て上げ、世の光、地の塩として遣わされます。

わたし いま お とき し もの ふたた こ しゅ ま のぞ
私たちは、今が「終わりの時」であることを知る者として、再び来られる主を待ち望
みます。

しゅ き
主よ、来てください。

わたし いの
《 私たちの祈り》

「立ちなさい。さあ、ここから行くのです」と言われる主よ。

わたし あい
私たちはあなたを愛します。

あいが 愛された人々を愛します。

あいが 愛された世界を愛します。

わたし きょう みずか ささ
私たちは今日、あなたに自らをお献げします。

わたし きょう あたら つか
私たちを今日、ここから新しく遣わしてください。

しゅ みな いの
主イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン。

ねん がつ にち
2021年9月23日

にほんどうめいきりすときょうだん
日本同盟基督教団

きょうしよく しんといちどう
教職・信徒一同

4 ヨハネの福音書 14章 31節

5 使徒の働き 1章 8節